

大野城民報

第87号

日本共産党 大野城市委員会
 発行者 松下真一
 大野城市若草 1-13-3
 TEL.596-5417
 FAX.985-9824

カラーになって大好評!
 家族みんなの新聞

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円
 日曜版●月800円

お申し込みは ☎596-5417

大野城市議会議員 松下真一 メール info@hige110.com ホームページ http://www.hige110.com

松下真一の 12月議会一般質問



公共調達の現状について

問 本市の入札制度の現状は

答 本市の入札制度は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約に分けられ、平成21年度、平成22年度上半期ともに、指名競争入札が75%、随意契約が25%で一般競争入札の対象はありません。また予定価格の公表は、工事請負契約のみ契約締結後の事後公表としています。

問 今後の課題について

答 総合評価方式は、落札者の決定までの入札期間に時間がかかる点と、学識経験者で構成する技術委員会の設置をおこななければならないという問題が今後1番の課題だと考えます。

問 入札の透明性の確保は

答 福岡県が示しています評価項目の例示の中から本市で選択をして、県の総合評価技術委員会に意見を伺っています。まだ試行の段階ですので今から十分検討したいと考えます

電子入札は業者の負担や費用対効果の検討面から導入にいたっていません。

問 総合評価方式について

答 平成19年11月1日に大野城市建設工事総合評価方式試行要領を定め、現在までに7件実施をしました。内訳は、簡易型が3件、特別簡易型が4件です。簡易型は技術的な工夫が小さい施工計画の提出をもらうもので、特別簡易型はもう少し規模が小さいものです。

市町村でできる範囲での総合評価には評価項目は盛り込んでいません。ただ業者の方から事情を聞きながら、改善を求めるものだと考えています。



水道事業について

問 大山ダム事業について

答 大山ダム完成後の本市の入水量は、施設能力は日量5500m³に対し利水安定供給量は日量3650m³に変更になります。また受水費は増加になります。

福岡水道企業団への出資金は一般会計から出資しますが、その時期は平成25年度から発生します。海淡施設建設中の平成16年頃は年間約3億円、平成21年には1億円、平成25年は8200万円、平成30年には5500万円と減少します。



問 五ヶ山ダム事業について

答 目的は、洪水調整、渇水対策。進捗状況は平成22年3月末で47.1%です。

問 福岡市は企業団への受水基本料金が年間14億円も削減になる理由は

答 国からの認可により大山ダム完成後は利水安全度となり福岡市は減額になります

問 水道料金の将来見通しは

答 平成24年度までは現行のままで維持します。今後は受水費の増加を合理化や内部留保の活用で対応できなくなった時は、審議会等で議論をして適切に判断します。

議会報告

12月議会で可決された主な議案

1. コミュニティー施設の設置及び管理に関する条例の全部の改正
2. 上下水道事業運営審議会条例の制定
3. 市道路線の廃止・認定
4. 平成22年度一般会計補正予算→4,175万円
 - ①子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種事業
歳入 地方交付税 2,295万円・県支出金 1,880万円（市支出なし）
国・県の補助がある平成22・23年の2カ年だけでその後は未定
5. 平成22年度一般会計補正予算→3億5,878万円
 - ①私立保育所運営扶助費や乙金保育園分園補助金 2,740万円
 - ②生活保護扶助費 1億7,875万円
 - ③重度障害者医療費・後期高齢者医療療養給付費・乳幼児医療費等の追加
 - ④道路維持費 4,600万円



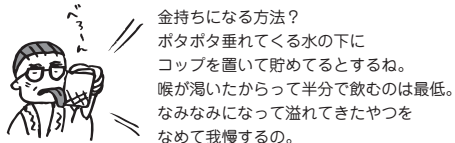
等々 条例の制定、改正 4件 道路の廃止、認定 2件 補正予算 7件

閑話休題

子宮頸がんワクチン
 ヒブワクチン
 小児用肺炎球菌ワクチンの
 予防接種事業が
 可決されました



でもこれは全部国・県からの予算でまかなわれてるんですよ。
 国は赤字だというのに、
 市は自費で実施しようとしなかったのです。
 果たしてこれで良いのでしょうか？
 まるで『マ●サの女』のホテル王のようです。



市民から納税されたお金、市民の為にこそ活かしたいですね